

2025年12月

丸徳グループ

車両分科会

だ

よ

り

Vol.34

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・優先順位に気をつけて
- ・交通安全クイズ
- ・交通ヒヤリハット（雪道走行）
- ・愛知県警からのリーフレット12月

信号が無い交差点の優先順位



■ 道幅が広いほうが優先

■ 車線があるほうが優先

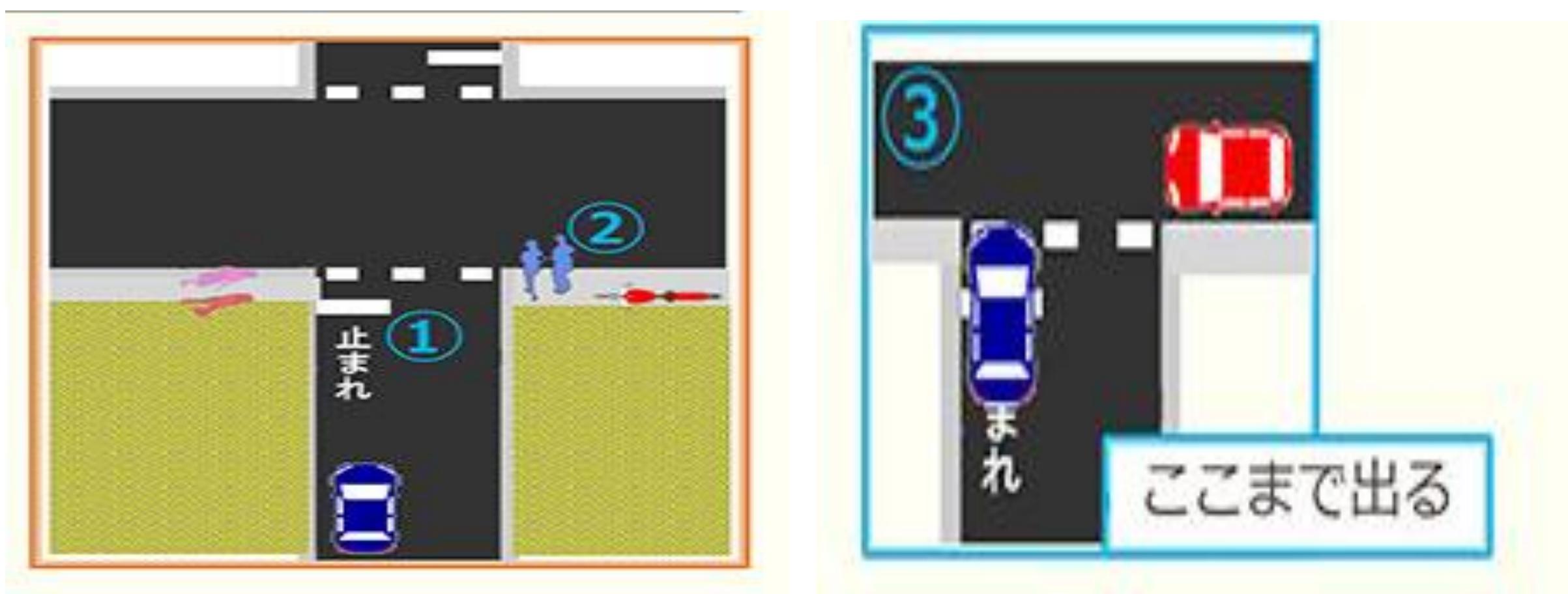
一時停止での優先順位



■ 「止まれ」がある → 「非優先」

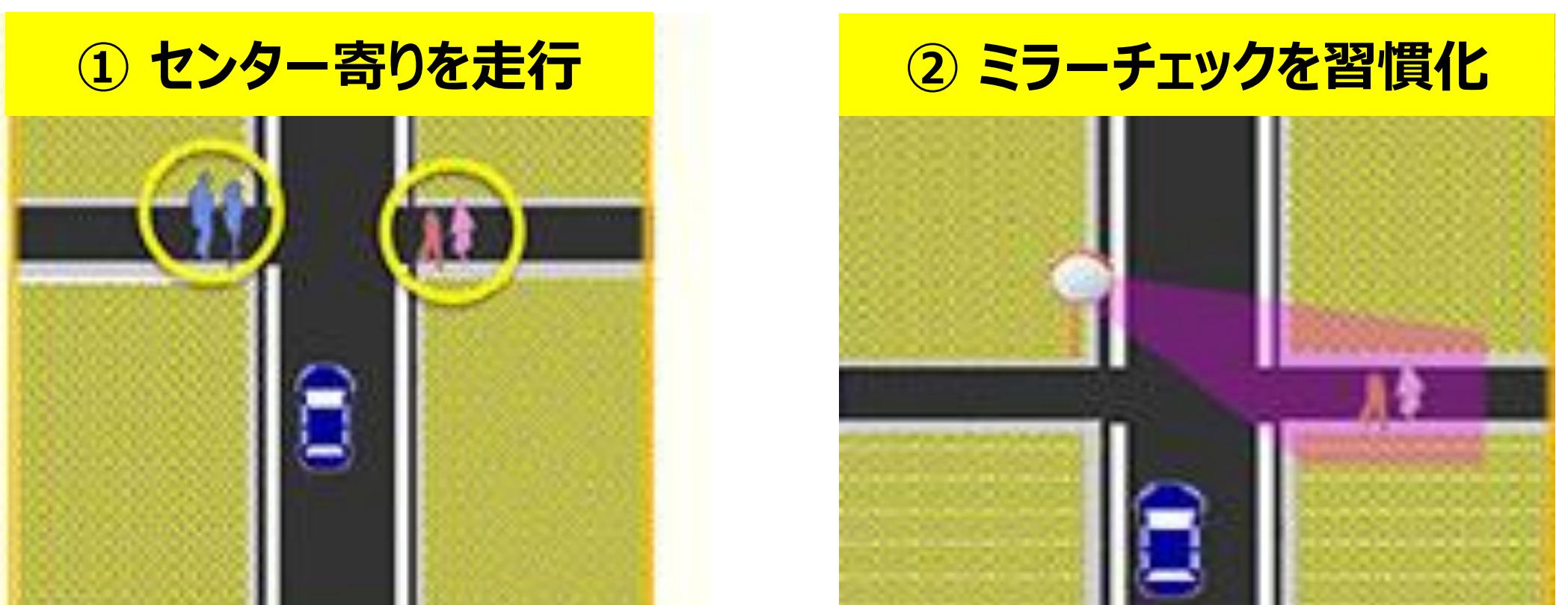
■ 「止まれ」がない → 「ほぼ優先」

「止まれ」の手順を3ステップで覚えよう



- ① 止まる（停止線で止まりましょう）
- ② 首振り（歩行者者がいないかチェックしましょう）
- ③ 道路際（点線まで進みましょう）

優先道路での習慣化ポイント



- ① センター寄りを走行→両サイドからの飛び出しに対し備えになります。
- ② ミラーチェックを習慣化→ミラーチェックが習慣化されると、事故リスクが大幅に軽減します。

＼今、知っておきたい／

交通安全 クイズ

「ながら運転」の
事故リスク
編

【交通安全クイズ】「ながら運転」認識度チェック！

Q1

信号待ちで停車中、お客様からのメールを受信。確認しようとスマホを操作したところ、巡回中の警察に捕まってしまった！どのような違反が適用される？

- ① 5万以下の罰金、反則金の支払い、点数▲1
- ② 6ヶ月以下の懲役又10万円以下の罰金、反則金の支払い、点数▲3
- ③ 停車中なので違反にはならない

Q2

走行中にお客様からの入電。Bluetoothで車とスマホを繋いでいるので、以下のように対応した。正しい対処法はどれに当たるでしょうか？

- ① 路肩に停車。Bluetoothで通話を繋ぎ、折り返すと回答した
- ② 走行しながらBluetoothで通話開始、折り返すと回答した
- ③ Bluetooth通話であれば保持にはならないので、通話を開始し、そのまま会話をした。

クイズの答えは次ページへGo



A1

答え

- ② 6ヶ月以下の懲役又10万円以下の罰金、反則金の支払い、点数▲3

POINT

「ながら運転」は、その危険性の高さから2019年12月に大幅な罰則の強化が図られました。

対象となる行為は、「保持」「交通の危険」。

スマートフォン等を使用し、事故を起こした場合の罰則が2点→**6点**となつたことで**1回でも免停の対象**となります。



A2

答え

① 路肩に停車。Bluetoothで通話
を繋ぎ、折り返すと回答した

POINT

ハンズフリー機器が違反に直結するわけではありませんが、緊急車両のサイレンを含む重要な音がしっかりと聞こえる音量に留め違反と捉えられる行為は未然に回避することを心がけましょう。

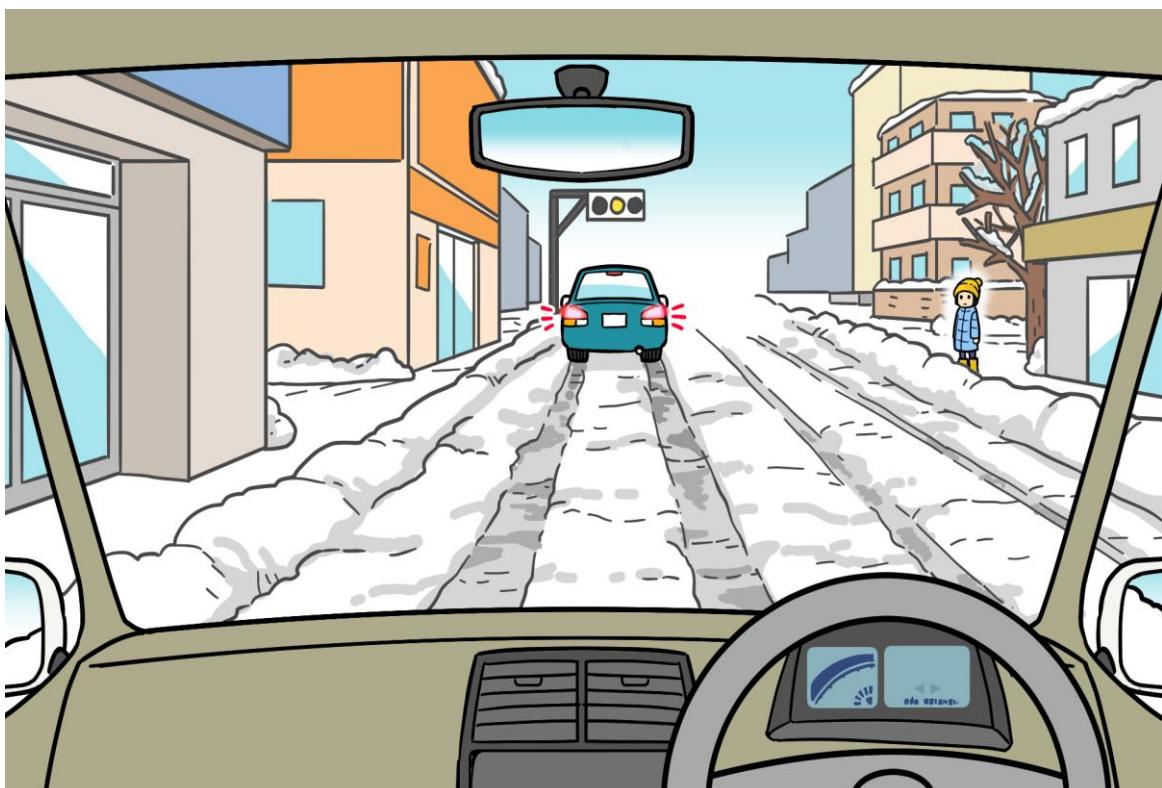


交通 ヒヤリハット

ヒヤリ： 雪道走行

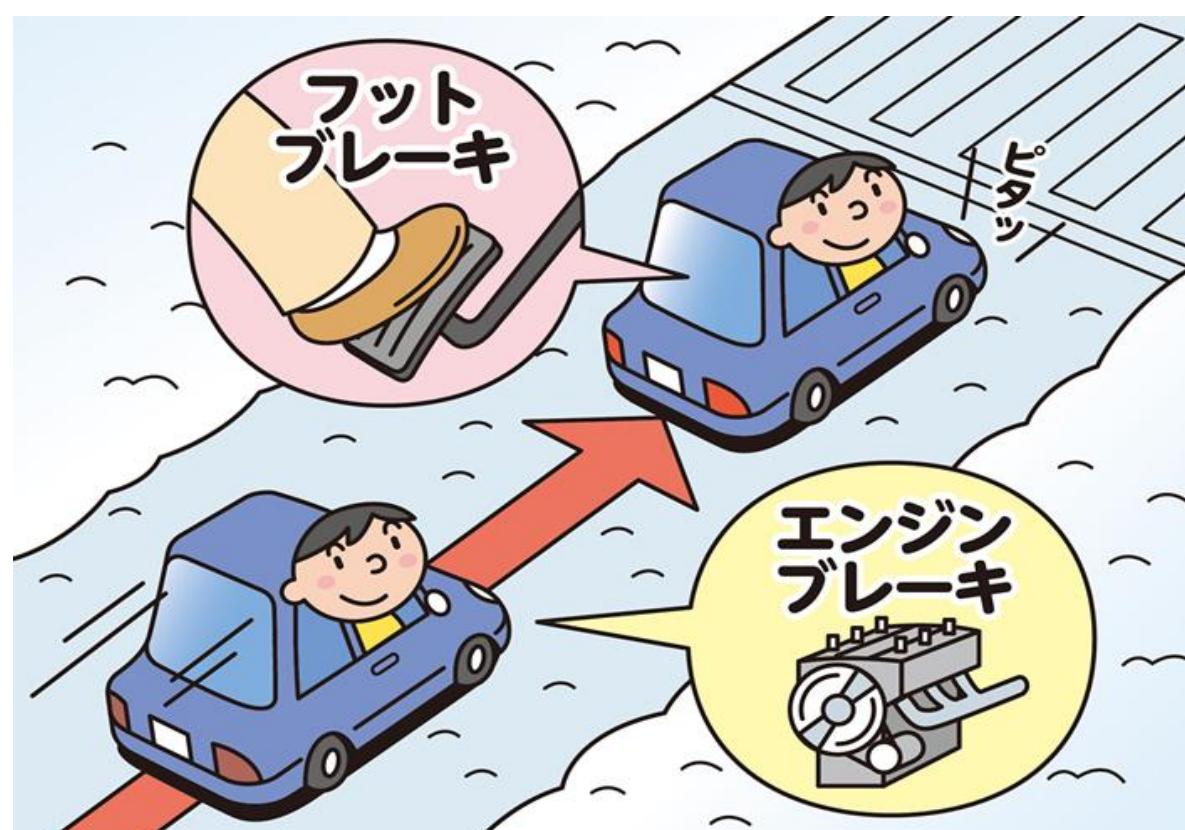
状況

雪が積もっていたがノーマルタイヤで走行。前に信号待ちの車がいる。



いつもより手前でブレーキをかけたが止まれそうにないので、強く踏んだら滑り前の車に追突しそうになった。

対策・注意



雪道での運転では、スリップしないように注意を払う。急発進・急加速・急ハンドル・急ブレーキなど、「急」のつく運転は止めましょう。アクセルやブレーキは6分目を意識しましょう。



交通事故防止のPOINT

R 7-⑫



愛知県警察本部
交通総務課
交通事故対策室

ドライバーの皆さん

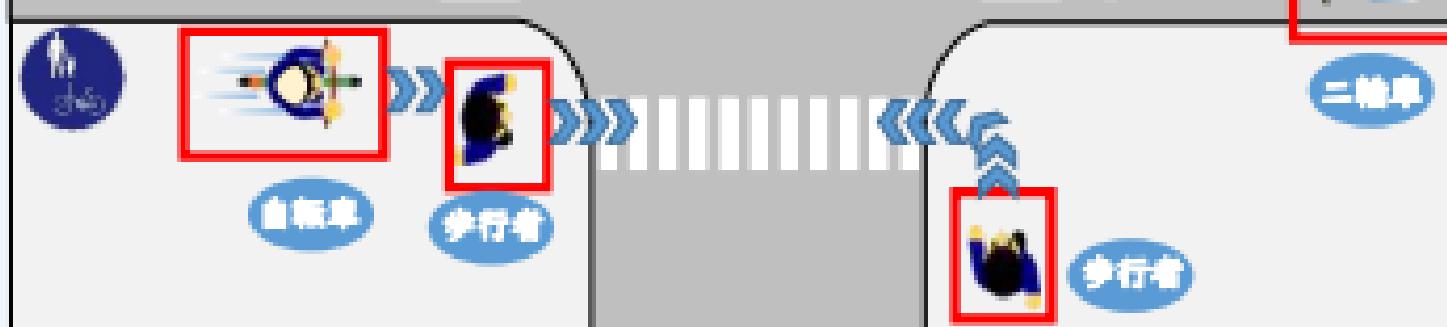
右折・左折の時 どこを確認していますか？

右折

対向車だけを確認せず、対向車に隣れている車両や右折先の自転車や歩行者の動きも確認しましょう

対向車が通過したら右折しよう♪

対向車だけでは確認が甘い



こんな右折していませんか？



① 確認できる範囲が広い

② 曲線を描くように曲がるため速度が落ちる

③ 横断歩道手前で左右を確認できる

④ ①よりも範囲が狭くなる
危険 ⑤ ■ の範囲を見落とす
直線的で速度が速くなる

右折時は
交差点の中心を通行しましょう

左折

左だけでなく、左後方・前方も忘れずに確認しましょう

左は歩行者はいない。
左折しても大丈夫♪

右左折時の
交通事故防止のPOINT

右左折時は「徐行」

ゆっくり曲がって

見落とし・歩行者等との衝突

を防止

楽歩行とは、直ちに停止できるような速度で進行すること。

確実な安全確認

・右折、左折の前に進行方向の交通状況を 目で確認！



歩行者・自転車の皆さん

ドライバーが 気付いていない 場合もあります。歩行者・自転車も 安全確認 をしましょう！
夜間は、歩行者は LEDライト・反射材 の活用、自転車は ライトを点灯 しましょう！